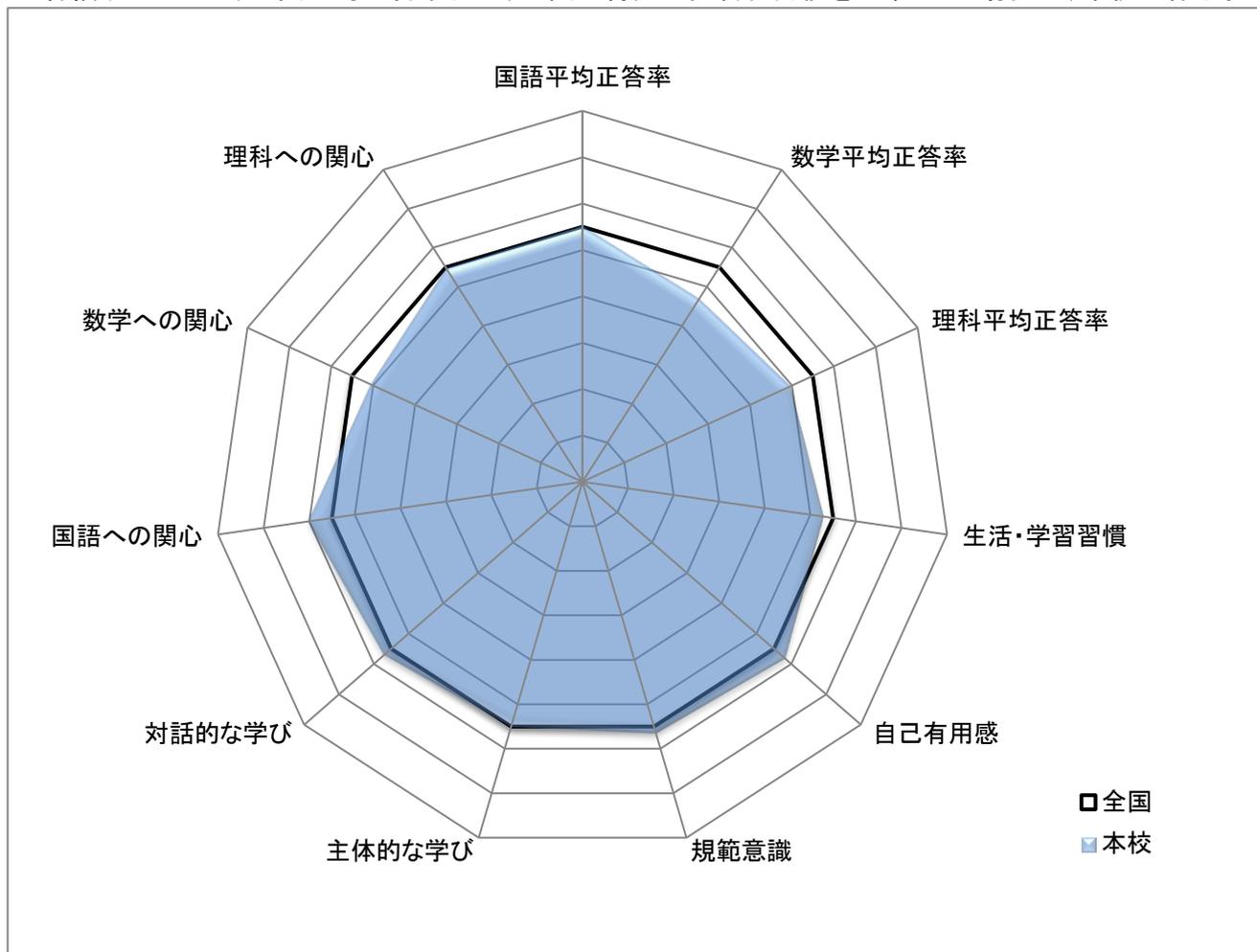


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語の我が国の言語文化に関する事項に関しては東京都や全国の平均を上回っています。また、国語のそれ以外の項目や数学・英語での項目においては東京・全国の平均よりも下回っています。
- ・生徒は落ち着いて授業を受けています。その雰囲気は、朝礼や避難訓練に整然と集合する様子からも知ることが出来ます。

《授業改善のポイント》

- ・基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力に基づく問題を解決する能力を確実に身に付けさせるため、「授業のねらい」を絞り、生徒に「わかった」「できた」という実感をもたせられるように、指導方法を組み立てていくことを目指しています。
- ・各教科とも授業は落ち着いて行われています。学習への苦手意識を克服するためにも生徒の知識・理解の質を高め、資質や能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を目指します。そのためには、授業の創意工夫や教科書、教材等の活用改善に努めます。

《チャートの特徴》

グラフからも読み取れるように、国語への関心は高く、「教科の授業はよくわかりますか」との問いに、肯定的に答えた生徒は、国語91.0%（全国81.2%）、数学70.2%（全国76.2%）、理科75.4%（全国75.2%）と授業に満足している割合が国語、理科では全国より多いことがわかります。なお、「対話的な学び」「主体的な学び」「規範意識」「自己有用感」で全国平均を上回っています。しかし、正答率は数学と理科ともに全国平均正答率を下回っています。

《家庭・地域への働きかけ》

「瑞三文武両道8か条」を策定しています。
 ①しっかりと朝食を摂る。②決まった時間に排便する。③余裕をもって登校する。④授業に集中する。⑤適度に運動する。⑥毎日2時間勉強する。⑦毎日お風呂に入る。⑧しっかりと睡眠をとる。を守ることを働きかけています。